### 1 事業者の氏名等

 事業者の氏名
 住友商事株式会社

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)
 代表取締役 兵頭 誠之

 事業者番号A1016

### 2 報告する事業所等の全体の状況 (平成29年度)

条例第8条の23第1項 報告事業所数		原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	
条例第8条の23第2項 報告事業所数	6 事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	28 kl

## 3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル

4 事業者としての取組

取組方針

当ビル入居テナント及び、管理会社と連携し、以下3点を重視して、地球温暖化対策に取り組む。①運用・保守方法の最適化 ②中長期的な設備改修計画の策定・実施 ③入居テナントと一体的に取組む省エネ施策の立案・実施

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
組織体制の	A102	温暖化対策推進担当の配置	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
整備の状況	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A116	所内会議・研修会等で報告

#### 5 特記事項

メーター計量の他、当初より作成した「エネルギー按分ツール」を使用し、テナントにエネルギー使用量の通知を継続して 実施。

1	事業所等	の概更
	TF 7K / /   Tr	V / 1111 34

177		121 14																				
事	業所	等 0.	)名:	称	ミツ	ワ小	J[[E	リビ,	ル													
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	1	0	0	0	1								
	NII	tata .	1		Ŧ	1	0	1	4	0	0	5	2	区	市町	村名	東	京都	千代田	区		
事	業所	等の)	所 在:		町り以	名 番	地下	神田	小川	町3-	-7-1											
事	業所等	ぎの延	床面	債		4,	756	.82	$m^2$	事工	業	「等 レギ			責年			1年	E度分		] 1	年未満
所	有	开	1	態		自己	斯	有		■ 他	1者形	斤有										
報	告	軍	č	用		建物	10) 全	全部		] 建	物の	)一岩	邪(ラ	ーナン	/ト)			建物	の一部	郭(そ	-の作	<u>也</u> )
報	告範囲	の主†	こる用え	途		事務 工場						商業複合			勿販)			商業 その	施設 他	飲食	ŧ)	
	本標語				6	9	1	1	連	9鎖(	匕事刻	業区2	分		直営	店		〕加	盟店	ı	■ ∌	丰該当
前か	年度の			容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	182	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	347	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総 計(④=②+③)	(1)	349	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	72.9	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

U		外山重サッパ	THV.						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	上一二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量** (t)
			便用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LAIS	都市ガス			$Nm^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
然	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	710,960.0	9.97	7,088.3	0.489	347.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
X	その他の買電(昼夜	************************************		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>10</sup> 7,088.3		<sup>15</sup> 347.7
そ	水道及び工業	用水道		$m^3$	3,641.0			0.251	0.9
の他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,813.0			0.439	1.7
		合 計						_	2.6
		インス エュルエ 米	TT1 1.33	t as 1.	o Marri Marin	11 H. T.	and the La	1 - M/ * - mb	N. P. SHILL B.

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	ル対等の	宝妆化油
4	地球(品)按	11. X 1 1 1 1 1	<del>≠</del> mi 1 / 7

	v		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>∜</b> □ <b>√</b>	織体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
<b>乔</b> 丑. 7				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	). 18 hate -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
IX /	11 4/ 1/1 v 1/1 1/11	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
	運用対策			C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省工				C806	その他設備の不使用時の停止
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				 
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		${ m kg  ext{-}CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

## 6 特記事項

#### 1 事業所等の概要

122		*// 1	1 10																	
事	業所	等	の名	3 称	住力	<b>支商</b>	事美	土化	弋ビ	ル				45.10						
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	=	0	0	0	4						
	\frac{1}{2} \ldots \frac{1}{2} \dots \frac{1}{2}	toto.		4	₹	1	0	1	-	0	0	5	3	区市町	村名	東京	京都千	代田区	ζ	
事	業所等	等 の	外所	王 地	町り以	名番	· 地 下	神田	美土											
事	業所等	手の タ	延床	面積		20,	132	.77	$m^2$	事工	業	「等 レギ	の : _	実 績 年 使 用	度の期間		1年度	度分		1年未満
所	有		形	態		自己	所有	1		〕他	1者方	有								
報	告		範	囲		建物	の分	全部		〕建	物の	一音	邪(ラ	ナント)			建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	たる。	用途		事務 工場						商業 複合		设(物販) 设			商業施 その他		欠食)	
	本 標 : おける				6	9	1	1	連	鎖化	と事業	<b>美区</b> 2	分	□ 直営	店		加盟	店		非該当
前か	年度の										24									

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

		_		
原油換算エン	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	680	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	1,294	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	8	t
	総計(④=②+③)	4	1,302	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	64.2	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

J	PX 1 L/X 71	別中山里寺 (7) F:	H/ C						
	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>**1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) @=8×9×44/12
464.	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	11,481.9	45.00	516.7	0.014	25.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
m;	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	2,593,777.0	9.97	25,860.0	0.489	1,268.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(昼夜)	- 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>®</sup> 26,376.6		1,294.1
その	水道及び工業	用水道		$m^{3}$	6,707.0			0.251	1.7
他	公共下水道			${f m}^3$	14,975.0	/		0.439	6.6
		合 計						/	8.3
- 10	・愛与のは田	上、光 ロッドー 米	TTT 1 33	t 1	- LL ITT M IN	41 11 1	3.Mr L.H. L.	1 - 1112 - 1111	7. 巴邦州山周.

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

### 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
組	織体制の整備				
1200 /	MAY II III -> TE MII				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
工.	ネルギー等の			B107	主要説師の使用心化の危煙
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
省				C808	温湿度の適正管理
工			_	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネル				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ギー		D101		D105	<b>格屋ついた の</b> 注目 上松
l 対		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$ m kg \cdot CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

## 6 特記事項

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	日才	<b>本弘</b> :	道会	ビノ	レ														
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	==	0	0	0	7	T								
事	業所等	等の	所 在	地	町が以	1 名 番	<b>0</b> 地下	<b>1</b> 西神	田3-		0	6							京都千	代田	区		
事	業所等	手の気	正床面	ī積		3,	880	.99	$m^2$	事	業	「等 レギ	の -	実 · 使	績年	下 度   期	を 間		1年	度分	[		1年未満
所	有		形	態		自己	上所不	1		] 他	1者原	Ff有											
報	告		範	囲		建物	カの含	部		〕建	物の	)一岩	祁(ラ	・ナ	ント	)		3	建物0	り一片	邪(そ	ーの	他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業 複合			物販	į)			商業店 その化		飲食	(美	
	本標さ				6	9	1	1	連	鍾俏	/事	<b>美区</b> 2	分		直	営店	f		加盟	店	ı		非該当
前か	年度の		告内	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エン	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	131	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	<b>②</b>	250	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	(3)	1	t
	総計(④=②+③)	0	251	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	64.4	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

<u> </u>	- DX 10/278	か山里寺 ツア	D/V						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数	熱量 (GJ) ®=(®/1000)×⑦		炭素排出量 排出量 <sup>**1</sup> (t) <sup>®=®×®×44/12</sup>
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
5711	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の変貌的なので	昼間(8時~22時)		kWh	511,508.9	9.97	5,099.7	0.489	250.1
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計			_	_	<sup>®</sup> 5,099.7	$\overline{}$	250.1
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	2,741.0			0.251	0.7
他	公共下水道			$m^3$	2,741.0	/		0.439	1.2
		合 計				$\overline{}$		$\overline{}$	1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況	Ļ.,
4		л

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>€</b> □ ⟨	逆 休 判 の 畝 歴			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水出. 月	織体制の整備		0	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策			C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省工		2		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ネルギ					
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
71					
	設備導入対策				
	IN ALL VALUE				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無								
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量)						
	その他	特記事項に	内容を記載						

# 6 特記事項

2016年度平均入居率87.4%に対し、2017年度の平均入居率が100%と増加したため使用量が増加したもの。20kl(18%)

### 1 事業所等の概要

	- 17/N/14 - 1942																						
事	業所	等(	ワ 名	称	神日	日ア·	ベビ	ル															
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	-	0	0	0	9									
	, W. a				Ŧ	1	0	1	-	0	0	5	3	区	市田	丁村	名	東京	都千	代田	区		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名番	地下	神田	美土	代町	<sup>↑</sup> 3-2												
事	業所等	手の延	床面	i積		2,	189	.87	$m^2$	事	業月ネノ	「等 レギ	の : _	実 <i>;</i> · 使	漬 年	· 度 期	の間		1年月	度分		] :	1年未満
所	有	Ŧ	乡	態		自己	所	有	1	■他	1者原	斤有											
報	告	牟	危	囲		建物	<b>かの</b> 全	全部		■ 建	き物の	)一岩	部(ラ	テナ	ント)			建	物の	)一當	『(そ	つの	他)
報	告範囲	の主	たる月	途		事務工場						商業複合			物販	)			デ業施 の他		飲食	E)	
	本 標 おける					9	1	1	連	鍾俏	上事業	<b>業区</b> :	分		直	営店			加盟	店	ı		非該当
前か	年度らの		告 内 更	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	(1)	50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	95	t
排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	96	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	43.3	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

		別田里寺ッパ	10.						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			12/13		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
LAN	都市ガス			$Nm^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
乔尔	その他()			0.0					
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	196,187.0	9.97	1,956.0	0.489	95.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
X	その他の買電(昼夜	出不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	1,956.0		95.9
そ	水道及び工業		$m^3$	1,795.9			0.251	0.5	
の他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	1,795.9			0.439	0.8	
		合 計							1.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	the state of	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
省	運用対策				
エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目	標	の	有	無	□有		無					•
					ベンチャ	ァーク区	分		ランク	CO2削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)			CO <sub>2</sub> 排占	日量(延)	末面積当たり)		${ m kg ext{-}CO_2/m}^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	12	t		
					その他		特記事項に	内容を記載	= =			

6 4	4	三口	事	T白
0 -	v	ㅁㄴ	Ŧ	欠

### 1 事業所等の概要

_	4. 71	171 13	- 100	-																		
事	業所	等	の名	称	CN	I — 1	BL:	DG														
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	_	0	0	1	1								
	.W	4.4.	(		Ŧ	1	3	6		0	0	4	2	区	市田	丁村	名	東京春	邻江東	X	B	
事	業所	等の	所 右	E地	町纟以	名 番	地下	木場														
事	業所等	等の延	正床品	面積		6,	918	.66	$m^2$	事	業 戸 ネ ル	等レギ	の 	実 徒	漬 年	度期	の間	1	年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	」所有	有		■ 他	1者的	有	Т									
報	告		範	囲		建物	カの含	企部		〕建	物の	) — ‡	部(ラ	テナ、	ント)			建	物の-	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業 複合			物販	)			業施診 の他	殳(飲	(食)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	ム事業	美区:	分		直'	営店		ロカ	加盟尼	ij		非該当
前か	年度 ら 0		告严																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	257	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	488	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(②=®)	3	3	t
	総計(④=②+③)	<b>(1)</b>	491	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	70.5	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

		BLITTE ALANIE	10						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量**¹ (t)
			火刀		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
Jala	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
777	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	999,184.0	9.97	9,961.9	0.489	488.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
				//	9,961.9		488.6		
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	4,624.0			0.251	1.2
他	公共下水道		$\mathbf{m}^3$	4,624.0	/		0.439	2.0	
		合 計				/			3.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>€</b> □ (	※ 4 *** の *** #**	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
組織体制の整備				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	1			A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
	) 18 tota -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
(X.)	11 10( 100 00 10 100			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
	運用対策			C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
工				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
ネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
-15					
	設備導入対策	_			

١			_
1	実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。	

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

_							12: 1:	1 1 1 1 1 1 1	1			
目	標	0	有	無		有		無				 
					ベン	チマ	・一ク区	分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目札	票値等	争(選	訳)		CO	排出	量(延床	下面積当たり)		${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
					その	他			特記事項に	内容を記載	-	

C	特記事項	ĭ
6	- 作品 <del>- 11</del> -45	Į.

#### 1 事業所等の概要

43.5																								
事	業所	等(	の名	称	住才	<b>支商</b>	事銷	町	ゴル															
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	1	0	0	1	6	3									
					Ŧ	1	0	1		0	0	5	4	区	. †	ī 町	村	名	東京	都千	代田	区		
事	業所	等の	所 在	地	町:以	名 番	· 地 下		錦町															
事	業所等	きの 延	医床面	積		9,	041	.33	$m^2$	事工	業 戸ネノ									1年	变分			1年未満
所	有	7	形	態		自己	所	有		〕他	者原	Ff有												
報	告	Í	範	囲		建物	カのミ	管部		〕建	物0	)一岩	部(ラ	テナ	ン	ト)			]	生物0	)一音	部(-	その	他)
報	告範囲	の主	たる用	途		事務 工場						商業複合			物	販)				新業が この他		(飲:	食)	
	本 <i>標</i> おける				6	9	1	1	連	鎖作	(事業	業区:	分	Γ		直営	店			加盟	店	j		非該当
前か	年度らの			沿谷																				

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

	2.1042		
原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	□ 280	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	534	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(②=®)	3 4	t
	総計(④=②+③)	538	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	59.0	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

_ ರ_		排出重寺の内	F/\						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(®/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 <sup>®</sup>	炭素排出量 排出量 <sup>*1</sup> (t) <sup>(0)=®×®×44/12</sup>
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,092,416.0	9.97	10,891.4	0.489	534.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	用不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				$\overline{}$	10,891.4	/	534.2
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	6,017.0	$\overline{}$		0.251	1.5
他	公共下水道			$m^3$	6,017.0	/		0.439	2.6
		合 計				$/\!\!/$		$\overline{}$	4.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	LILTENDED TO THE LAND OF THE LINE	-
4	地球温暖化対策の実施状況	71

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
加	織体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
ŖĦ. į				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	h 1 18 htt 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C806	その他設備の不使用時の停止
省	運用対策				
エネルギー		D104		Dior	
 		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目 標 の 有 無	□ 有 ■ 無				 
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載	*	

# 6 特記事項

2016年度平均入居率95.5%に対し、2017年度の平均入居率が97.3%と増加したため使用量が増加したもの。40kl (16.7%)

#### 1 事業所等の概要

							_	_	_		_								_				
事	業所	等	の名	称	住力	<b>支商</b>	事八	重	州ビ.	ル													
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	ŧ.	0	0	1	7									
	N/66		<i>1</i>		Ŧ	1	0	4	1	0	0	3	1	区	市	丁村	'名	東京	都中	央区			
事	業所	等の	所 在	土地	町:以	名番	地下	京桶	§1-13														
事	業所等	<b>その</b> 3	正床面	面積		9,	726	.41	$m^2$	事	業 <i>戸</i> ネ <i>ノ</i>	「等 レギ	の -	実 : 使	績 年 5 用	度期	の間		1年月	度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	上所有	Í		] 他	1者的	「有											
報	告		範	囲		建物	の分分	部		〕	物の	)一岸	邪(ラ	テナ	ント)			〕建	物の	)一音	ß(そ)	の他)	
土口	告範囲	の主	ナフ F	口冷		事務	歽					商業	(施	没(	物販	)		〕商	業施	6設(	飲食	)	
和	古軋団	ひ土	1001	力坯		工場	<u>1</u>					複合	施	設				〕そ	の他	Ţ			
	本標さ				6	9	1	1	連	鎖化	/事業	<b>美区</b>	分		直	営店	i		加盟	店		非討	送当
前	年度	の報	告卢	了容																			
か	5 O	)変	更	点																			
1																							

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	(1)	254	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	495	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	498	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	50.8	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

	燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量** <sup>1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LIMA A	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
然	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	問不明の場合を含む。)		kWh	1,012,372.0	9.76	9,880.8	0.489	495.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					9,880.8		<sup>(15)</sup> 495.0
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	4,573.0			0.251	1.1
他	公共下水道			$m^3$	4,573.0	/		0.439	2.0
		合 計							3.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

### 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>√</b> □ 4	海 14 出 の 軟 14			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
<b>形</b> 丑	織体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	) 19 bets -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
100 /	11 4/ 1/1 V 1/1 VE			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	運用対策			C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
エ				C818	エレベータ運転台数の制限
ネ				C806	その他設備の不使用時の停止
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	IX III IX IX IX IX				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	】 設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	BY NU 45 VV VI	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

1		_		_
ı	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無	1			
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$ m kg \cdot CO_2/m^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載	>	

# 6 特記事項

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	住力	<b>支商</b>	事神	伸保	町ビ	ル												
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	Ī	0	0	1	8								
					₹	1	0	1		0	0	5	1	区	市町	村:	名東	京都	7千代日	国区		
事	業所	等 ∅.	) 所 在	:地	町り以	名 番	地下	神田	神保	·町2-	-11-1	.5					1.7					
事	業所等	等の.	延床面	ī積		6,	846	.03	$m^2$	事工	業	「等 レギ	の 	実施使	責年 用:	度は期し	の 間	1 1	年度分			1年未満
所	有		形	態		自己	上所有	旨		] 他	1者前	有	1									
報	告		範	囲		建物	の分	企部		〕建	物の	) 一	邪(ラ	・ナン	/ト)			建物	物の一	部(-	その	他)
報	告範囲	の主	三たる月	月途		事務 工場						商業 複合			勿販)			商業	美施設 )他	(飲	食)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	と事 ぎ	美区2	分		直営	店		] 力	盟店			非該当
前か	年度らの		及告内 変 更	容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	529	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	1,006	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑮)	3	4	t
	総計(④=②+③)	<b>(1)</b>	1,010	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	146.9	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

	— FIX TUDY TI	沙山玉子小	H/ V						to a time to the
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量** <sup>1</sup> (t)
			文用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(I)=8×9×44/12
.[4]	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	2,058,367.0	9.97	20,521.9	0.489	1,006.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~~	その他の買電(昼夜	門不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	<sup>®</sup> 20,521.9		1,006.5
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	6,025.0	/		0.251	1.5
他	公共下水道			m <sup>3</sup>	6,025.0	/		0.439	2.6
		合 計						/	4.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>ў</b> □ .	<b>始 休 知 の 軟 供</b>			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
<b>作</b> 且 )	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	ネルギー等の		自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
使,	用状況の把握				
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C808	温湿度の適正管理
	運用対策			C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
工				C812	自動販売機の不要時の停止
ネル				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D4.00		D.	Walana Zarka i Bula mara
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E134	駐車場CO等濃度制御の導入

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

# 6 特記事項

#### 1 事業所等の概要

	4 714	.// 13 -	1742																			
事	業所	等の	名	称	net2	XDC	第2	2セン	ノター	-												
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	=	0	0	1	9								
				Ī	Ŧ	1	3	4	-	0	0	9	1	区	市	丁村	名耳	東京者	祁江戸	)   <u>&gt;</u>	ζ.	
事	業所	等の方	<b></b>		町り以	名 番	地下	船塘	∄3−5-	-14												
事	業所等	の延	床面	積			66	.00	$m^2$	事	業月ネノ	で等レキ	の - -	実使	績 年	度期	の間	1	年度:	分		1年未満
所	有	形	į į	態		自己	上所有	有		■ 他	1者原	斤有										
報	告	鄞	<u>[</u>	囲		建物	りのさ	企部		■ 殞	物の	D→ţ	郭 (ラ	テナ	ント)			建物	勿の-	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主た	こる用語	途		事務 工場						商業複合			物販	)			業施記 の他	殳(食	欠食)	,
	本 標 おける				5	0	0	9	連	鎖化	上事美	業区:	分		直	営店		⊐ t	11盟后	ŧ.		非該当
前か	年度の			容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	10	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	<b>②</b>	20	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	20	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	303.0	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

	N TI = 1	HV						
燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量** (t)
		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0=8)×9×44/12
都市ガス			$Nm^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
その他()				0.0				
その他()				0.0				
一般送配電事業者の電視的なので	昼間(8時~22時)		kWh	19,685.0	9.97	196.3	0.489	9.6
供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	21,500.0	9.28	199.5	0.489	10.5
その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計			$\overline{}$		<sup>®</sup> 395.8		20.1
水道及び工業	用水道		$\mathbf{m}^3$	0.0			0.251	0.0
公共下水道			$\mathbf{m}^3$	0.0	/		0.439	0.0
	合 計							0.0
	燃料等の 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼夜) 第5条の17第3項	燃料等の種別 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 を間(22時〜翌日8時) その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)  第5条の17第3項の場合のみなし合計 水道及び工業用水道 公共下水道	燃料等の種別 の 使用 都市ガス その他 (LPG) その他 (灯油) その他 () 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 を間(22時~翌口8時) その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)  第5条の17第3項の場合のみなし値**2 合計 水道及び工業用水道 公共下水道	推計 の 使用 単位 使用 単位 使用   単位 使用   単位 使用   単位 使用   Nm³ その他 (LPG)	推計 の 使用   単位 使用量	推計 の 使用 単位 使用量 係数 で	推計 の 使用 単位 使用量 係数 (GJ) (意=(®/1000)×⑦ 都市ガス □ Nm³ 0.0 45.00 0.0 その他(LPG) □ kg 0.0 50.80 0.0 その他(灯油) □ L 0.0 36.70 0.0 その他() □ 0.0	#計

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点效	策			その他対策	<b></b>
		対策番号		対策名	対策都	子号	対	策名
					A40	2	使用量の推計によ	必要な情報の提
<b>公</b> 日:	織体制の整備				A40	6	使用量に応じた料	中金体系等の採用
形上								
т	ネルギー等の	B102	関連他者からの	の情報を加えて把	握			
使	用状況の把握							
_								
	運用対策							
	医							
省工								
上 ネ								
ル								
ギー								
対								
策	設備保守対策							
	・							
	設備導入対策							
	設備導入対策							
主系			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	tì <i>t</i> =				
実統	設備導入対策 開発		□ 目標達成	<b>覚した。</b>				
	責年度の目標達成	の状況	Un.					
5	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況球温暖化	対策の目標					
5	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況 球温暖化口 有	対策の目標 ■ 無		シク	CO	,削減率(前年度比)	
5 	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		シク g-CO <sub>a</sub> /m²		削減率(前年度比)排出量(総量)	
5 	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無		$g-CO_2/m^2$		削減率(前年度比) 排出量(総量)	
5 	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5月目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5 ]	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5 ]	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5 目 村	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5月目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 ロ 有 ベンチマー CO <sub>2</sub> 排出量	対策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		$g-CO_2/m^2$			
5目目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 でする無 ででででである。	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	対策の目標  無 ク区分 (延床面積当たり)	を を 特記事項に内	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> 容を記載			
5目目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 票値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	対策の目標  無 ク区分 (延床面積当たり)	を を 特記事項に内	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> 容を記載			
5目目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 票値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	対策の目標  無 ク区分 (延床面積当たり)	を を 特記事項に内	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> 容を記載			
5目目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 票値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	対策の目標  無 ク区分 (延床面積当たり)	を を 特記事項に内	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> 容を記載			
5月目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 票値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	対策の目標  無 ク区分 (延床面積当たり)	を を 特記事項に内	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> 容を記載			

#### 1 事業所等の概要

	** ==	= kk		5 F/c	立に ク	-لدج	2 1	7-													
事	来力	寺	のタ	白杉小	利1	白リ	ミツロ	ツフ													
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	-	0	0	2	0							
					₹	1	6	3	-	1	0	3	7	区	市町	村名	東	京都新	折宿区		
事	業所	等(	の所え	在 地	町:以	名番	i 地 下	西新	宿3-	-7-1	新宿	パー:	クタリ	フーN	V棟37	F					
事	業所	等の	延床	面積			912	.33	$m^2$	事	業 所 ネ ル	等ンギ	の	実施使	責年 用;	度の期間		1年	度分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	所不	钉		■ 他	1.者所	有					:!7				
報	<u>#</u>	Î	範	囲		建物	の全	企部	-	■ 建	物の	)一音	羽(ラ	・ナン	/ト)		□ <i>3</i>	建物の	の一音	13(その	7他)
報	告範囲	目の :	主たる	用途		事務 工場						商業 複合			勿販)			商業店 その値	施設( 也	飲食)	
	本 標 おける				7	6	2	1	連	鎖化	<b>占事</b> 第	美区分	分		直営	·店		加盟	盟店		非該当
前か	年度らい		報 告   変 更																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	53	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	0	102	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	110.7	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(®/1000)×⑦	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>**1</sup> (t) ®=®×®×44/12
LAID	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(冷水)			MJ	134,000.0	1.36	182.2	0.060	8.0
及	その他(産業用	月以外の蒸気)		MJ	110,000.0	1.36	149.6	0.060	6.6
び熱	その他()				0.0				
Tr.	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	177,058.0	9.76	1,728.1	0.489	86.6
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>®</sup> 2,059.9		101.2
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	2,311.0			0.251	0.6
他	公共下水道			$m^3$	2,311.0	/		0.439	1.0
		合 計				$\overline{}$			1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対		重点対	策			その他対策
		対策番号		対策名		対策番号	対策名
her hi							
組維	能体制の整備						
		B102	関連他者からの	の情報を加えて	把握		
エイ	ネルギー等の 月状況の把握						
)	T 4人 7C 07 1C 1座						
						C719	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	運用対策						
145							
省工							
ネ							
ル							F -
ギー							
対							
策	設備保守対策						
ŀ			V			E133	節水器具の採用
						Dioo	MINTARE NO. 12 TINITI
1	設備導入対策						
_					·	ļ	<u> </u>
実績	年度の目標達成	の状況	□ 目標達成	戊した。			
	提出年度の地						
目	標 の 有 無	□有	無無				
		ベンチマー	ク区分		ランク	CO	2削減率(前年度比)
目標	値等(選択)	CO₂排出量	(延床面積当たり)		kg-CO	$O_2/m^2$ CO	2排出量(総量) t
		その他		特記事項に			
6	特記事項						
		FIFTIO	利用客のため	変動要素なし			
次食	店舗として利田中	例年1用11(7)		久 別 久 不 るし	ט		
次食	店舗として利用中。	例年通りの	1471171 027				
次食	店舗として利用中。	例年週900	111111111111111111111111111111111111111				
次食	店舗として利用中。	例年週907	111111 011007				
次食	店舗として利用中。	例牛迪900	14111-11 421-427				

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	住力	<b></b>	事グ	<u>"</u>	ーノヾノ	レ人	材開	開発~	セン	ター	-							
_					_					_	_		_		_	_					_	
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	<del></del> 1.	0	0	2	1								
					₹	1	0	4	-	0	0	6	1	区	市町	村	名東	京都早	中央区			
事	業所	等の	所有	E地	町;以	名 番	F 地 下	銀座	§7-17	7-16												
事	業所等	等の	延床面	百積		4,	911	.21	$m^2$						責年 用:			1年	度分		] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	有		] 他	1.者页	斤有										
報	<u>井</u>	:	範	囲		建物	かり	陪全		〕建	物の	つ一帯	邪(ラ	ーナン	/ト)			建物	の一葉	邪(そ	の他	1)
表现	告範囲	1 m =	ーたス F	日上		事務	骄					商業	能	没(华	勿販)			商業	施設(	飲食	E)	
YK	口軋团	コマノコ	11001	11 还		工場	1 7					複合	施	没				その作	也			
	本 標 おける				5	6	0	0	連	鎖化	(事)	業区2	分		直営	店		加盟	盟店	ı	非	該当
前か	年度らい		设 告 卢																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	129	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	1	247	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	50.0	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

		別里サッパ	HV						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>* 1</sup> (t)
_			150714		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
داطا	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
24.5	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	503,805.0	9.97	5,022.9	0.489	246.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	用不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	<sup>®</sup> 5,022.9		<sup>15</sup> 246.4
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	2,219.9			0.251	0.6
他	公共下水道			$m^3$	2,219.9	/		0.439	1.0
		合 計							1.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対	)( · · ) CNE	東点文	策		i		
		対策番号		対策名		対策番号		
		A501	ビル所有者の		協力	A405	ビル全体の推進体制の整備	
ψп	(か. Ar 生) の あ (生							ī
和.	織体制の整備							
	ネルギー等の	B101	自ら入手可能	な情報に基づく	(把握	B103	時間的に詳細に把握	
	用状況の把握					B107	主要設備の使用状況の把握	
_	T.							_
		C101	空室・不在時等			C107	空調機スイッチに空調範囲を表	_
		C106	冷暖房温度を		変更	C108	温度計等による室温の把握と記	
		C109	空室•不在時等	学の空調停止		C115	事務用機器を業務終了時に停	_
	  運 用 対 策					C116	個人用端末の不用・離席時の個事務用機器の台数見直し・集終	
	連 用 刈 束					C126	事務用機器の百数見直し*果然	J1E
省工								_
エネ								_
ル								_
ギー		D103	中央熱源機器	等の定期点検	の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
, 対		D104	空調フィルター		7 - 7 - 7	D108	その他設備の定期的な保守・点	 〔検
策	設備保守対策							
		E101	高効率照明ラ	ンプの採用(屋	内)			_
	引供道する特色	E103	高効率照明器	具の採用(屋内	J)			
	設備導入対策	E114	高効率パッケー	ージの採用				
		E123	トップランナー	機器の採用				
17 %	責年度の目標達成	の生活	□目標達原	北) た	7			
大小	日午及り口信達成	VIANDL		12.070				
5	提出年度の地	球温暖化	対策の目標	į				
目	標の有無		■ 無	Ì				
		ベンチマー			ランク	CC	2削減率(前年度比)	٦
目標	1		(延床面積当たり)		kg-CC		2排出量(総量)	1
		その他		特記事項に	_		201   32 (102)	<u> </u>
		C+> E		11 HO 4- X10	11716	да 45%		_
6	特記事項							
								_

#### 1 事業所等の概要

-	4.71	171 11	~ ) IN	_																		
事	業所	等(	の 名	称	八直	重洲:	宝町	ビノ	レ													
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	Ţ	0	0	2	3								
	VII.6	brika _		. 11	Ŧ	1	0	4	-	0	0	3	1	区	市岡	丁村	名	東京者	都中央	区		
事	業所	等の	所 在	:地	町。以	名 番	地下	京橋	§1-18	3-1												
事	業所等	の延	E 床 面	ī積		11,	832	.75	$\mathrm{m}^2$						漬 年 〔 用			<b>1</b> 1	年度	分		1年未満
所	有	7	形	態		自口	上所有	Í		■ 他	1者月	所有										
報	告	Í	範	囲		建物	かの生	产部		] 建	物の	3 一 持	邪(ラ	テナ	ント)			建	物の-	一部	(その	)他)
	告範囲				Ш	事務 工場						商業 複合			物販	)			業施 の他	没(食	欠食)	
	本 標 i おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事美	業区2	分		直'	営店		口力	<b>加盟</b> /	吉		非該当
前か	年度の		告内更	容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	402	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<b>②</b>	764	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	768	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	64.5	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

ř	— pX 10///X	12LTH = 4. 4.5.1.1	HV V					- m²/s #1	U-+11
	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)		炭素排出量 排出量 <sup>**1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0) (0)=(8)×(9)×44/12
.161.	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	7,140.7	45.00	321.3	0.014	16.0
燃料	その他(冷水)			MJ	1,727,146.0	1.36	2,348.9	0.060	103.6
及	その他(温水)			MJ	194,511.0	1.36	264.5	0.060	11.7
び熱	その他()				0.0				
抗	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	1,295,838.0	9.76	12,647.4	0.489	633.7
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					15,582.2		<sup>15</sup> 765.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathbf{m}^3$	6,390.0			0.251	1.6
他	公共下水道			$m^3$	6,390.0			0.439	2.8
		合 計							<sup>(b)</sup> 4.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

# 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>公日</b> :	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
nd )					
7-	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C808	温湿度の適正管理
	運 用 対 策			C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
工				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	】 設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	放 佣 体 寸 刈 凩	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以哪等八刈界			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				
3	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	1	$ m kg \cdot CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

## 6 特記事項

### 1 事業所等の概要

事	業房	等	の名	称	麹田	丁三	葉ビ	シレ														
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	Ĭ	0	0	2	4								
					Ŧ	1	0	2	1	0	0	8	4	区	市町	村	名	東京都	千代田	区		
事	業所	等 0	か所を	E地	町。以	名番	地下	H	計3-													
事	業所	等の	延床口	面積		8,	579	.77	$m^2$	事	業 戸 ネ ノ	「等 レギ	の 	実 á 使	責 年 用	度期	の間	■ 1年	<b>E度分</b>		] 1	上年未満
所	丰	Ī	形	態		自己	上所不	İ	ı	■他	1者月	斤有										
報	벋	î	範	囲		建物	1の台	产部	- 1	■ 建	物の	)一音	邪(ラ	ーナン	/ト)			建物	の一节	郭(そ	·0)1	他)
却	生鉛压	E OD I	Eたる/	日冷		事務	豜					商業	施	没(4	勿販)			商業	施設	飲食	(3	
						工場	<u> </u>					複合	施	辽				その	他			
			産業 5 分類 都		6	9	1	1	連	鎖個	(事業	業区2	分		直常	含店		□加	盟店		Į	非該当
前か			报告 Þ 変 更																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	404	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	769	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1,085	t
	総計(④=②+③)	4	1,854	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	89.6	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

		別田里寺ップト	HV						
	燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	上一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			12/11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
حلطا	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77(3	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,572,692.0	9.97	15,679.7	0.489	769.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	・ 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					15,679.7	$\overline{}$	769.0
その	水道及び工業	用水道		m <sup>3</sup>	1,572,692.0			0.251	394.7
他	公共下水道			$m^3$	1,572,692.0	/		0.439	690.4
		合 計				$\overline{}$			1,085.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

### 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>√</b> □ •	<b>強 14 生 の 藪 1</b> 生			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
<b>和</b>	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	). 13 feb. 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
	/II /V /VE <> 1C //E			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運用対策	C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C812	自動販売機の不要時の停止
H T				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネ				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	】 設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	一一一	E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

		_
実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。	ľ

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目	標	の	有	無		有		ı	無	$\mathbb{L}$					
					ベン	チマ	ーク	X,	分				ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目相	票値等	筝(選	訳)		CO	2排出	延(延	床	面積当たり				$ m kg\text{-}CO_2/m^2$	CO2排出量(総量)	t
					その	他				特	持記事項	(KZI	内容を記載		

# 6 特記事項

### 1 事業所等の概要

			- 174.																				
事	業所	等(	の名	称	住才	<b>支商</b>	事京	橋	ごル										9				
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	-	0	0	2	5									
					Ŧ	1	0	4	-	0	0	3	1	区	市	订 村	名	東京	都中	央区			
事	業所	等の	所 在	地	町は以	名 番	地下	京橋	§1–18	3-10													
事	業所等	の延	床面	i積		11,	177	.55	$\mathbf{m}^2$	事	業 戸ネノ	「等レギ	の 	実 · 使	績 <sup>在</sup> 〔 用	三度期	の間		1年度	度分		1年	未満
所	有	Ŧ	形	態		自己	上所不	Í		] 他	者形	斤有											
報	告	á	飽	囲		建物	カの生	产部		■ 建	物の	)一岩	邪(ラ	テナ	ント)			建	物の	一部	3(そ	の他	)
±n	<b>庄</b> 嫉 国	σ <del>}</del> .	たフ FI	1 \		事務	歽					商業	(施	設(	物販	)		商	業施	設(	飲食	)	
羊収	告範囲	07土	につけ	1 还		工場	<u> </u>					複合	施	設				そ	の他	ı			
	本 標 i お け る				6	9	1	1	連	鎮化	(事)	美区2	分		直	営店			加盟	店		非	該当
前か	年度の		告 内 更	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エン	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	305	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	593	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	(1)	596	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(b)	53.0	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

<u> </u>	一日久「ログくうド	別山里寺のアド	HV						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量**¹ (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(ii)=(8)×(9)×44/12
74.1	都市ガス			$Nm^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77/17	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	れて明の場合を含む。)		kWh	1,213,193.0	9.76	11,840.8	0.489	593.3
規則	川第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>®</sup> 11,840.8		593.3
その	水道及び工業	用水道		$\mathbf{m}^3$	4,623.0			0.251	1.2
他	公共下水道			$m^3$	4,623.0	/		0.439	2.0
		合 計				/		$\overline{}$	3.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	THE TREATMENT OF THE THE TAX AND THE

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
公日	織体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
形丘				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
	in a last tele on	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	運用対策			C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
エ				C818	エレベータ運転台数の制限
ネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	双	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO2排出量(延床面積当たり)		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

# 6 特記事項

#### 1 事業所等の概要

事	業	所	等	の名	3 称	第2	佐里	予ビノ	レ														
事	業	Ė	所	番	号	A	1	0	1	6		0	0	2	6								
Г						₹	1	0	1		0	0	5	4	区ī	† 町	村名	克 東	京都	千代田	区		
事	業月	近 争	等 の	所で	生 地	町以	名 番	ř 地 下	神田	錦町	<sup>-</sup> 2-2-	-16											
事	業所	等	の §	延床	面積			<b>22</b> 1	.81	$m^2$	事工	業月ネノ	等レギ	の 	実 着 使	責年 用	度 0期 間	D 引	1年	E度分	[		1年未満
所		有		形	態		自己	上所不	有			1者月											
報		告		範	囲		建物	りの全	企部		〕建	物の	) — ţ	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物	の一片	部(そ	<u>-</u> の	他)
報	生新	田(	カ主	こたる	田凃		事務	歽					商業	(施)	没(物	勿販)			商業	施設	(飲1	<b>(</b> 3	
							工場	] 力					複合	施	设				その	他			
				業 分類		6	9	1	1	連	鎖化	(事)	<b>美区</b> :	分		直営	店	[	] 加	盟店	ı		非該当
前か				设告 F 更																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	5	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	10	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	10	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	45.0	$ m kg\text{-}CO_2/m^2$

	— PX 1 L/2 7N	1州山里寺ツア、	H/\						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(®/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 <sup>®</sup>	炭素排出量 排出量** <sup>1</sup> (t) <sup>®=®×®×44/12</sup>
LHIS	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.5	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	20,904.0	9.76	204.0	0.489	10.2
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	204.0		10.2
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	35.0	/	$\overline{}$	0.251	0.0
他	公共下水道			m <sup>3</sup>	35.0	/		0.439	0.0
		合 計				$\overline{}$			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対	1		1 Ade			12 m lil. l. l hole	
		± 1.8%; ₹17. [1]	重点支		In I Artic still	- 1	その他対策	h
_		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A401	アナントにエネ	ルギー使用量提供		_		
組	織体制の整備					_		
						_		
_	ネルギー等の	B101		な情報に基づく把握				
使	用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度比較				
_								
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
1						$\neg$		
対	凯准旧卢基炼							
策	設備保守対策							
	設備導入対策							
	設備導入対策							
		es 11) Ver		5				
	設備導入対策 責年度の目標達成	の状況	□ 目標達原	成した。				
実績	責年度の目標達成						_	
実績 5	責年度の目標達成 提出年度の地	球温暖化	対策の目標					
実績 5	責年度の目標達成 提出年度の地	球温暖化 □ 有	対策の目標 ■ 無					
実績 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	球温暖化 口 有 ベンチマー	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク		_	<b>削減率</b> (前年度比)	9/
実績 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 ■ 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_	削減率(前年度比)	
実績 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	球温暖化 口 有 ベンチマー	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地 標 の 有 無	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実縁 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実縁 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実 5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
<b>支</b> 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目 目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択) 特記事項	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目 目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 である。無 でででででは、「できる。」できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」は、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、「できる。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目 目標 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択) 特記事項	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目 目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択) 特記事項	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		
実績 5 目 目 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択) 特記事項	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		% t
実	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択) 特記事項	球温暖化 □ 有 ベンチマー CO₂排出量	対策の目標 <b>■</b> 無	ランク kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$	_		

#### 1 事業所等の概要

175.00		.,,,		- 1																		
事	業所	等の	り名	称	御月	<b>戈門</b>	PRE	X														
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	-	0	0	3	2								
	VIII	tata	,		Ŧ	1	0	5	-	0	0	0	4	区	市町	村	名東	京都	港区			
事	業所	等の	所 在	地	町:以	名 番	· 地 下	新橋	₹6-14													
事	業所等	€の延	床面	ī積		3,	500	.33	$m^2$						責 年 用			■ 1 <sup>左</sup>	F度分		] ]	1年未満
所	有	Я	4	態		自己	所有	Ĩ		□ 他	1者原	斤有	1				~~					
報	告	爭	í í	囲		建物	の分分	产部		]	物0	) — 芋	邪(ラ	ーナン	/ト)			建物	の一輩	部(そ	<u>^</u> の′	他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業 複合			勿販)			商業その	施設 他	飲食	£)	
	本 標 i おける				6	9	1	1	連	鎖化	と事業	業区2	分		直営	常店	[	]加	盟店	į.	Į	非該当
前か	年度の		告 内 更	容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

		1 2 2 7 1 2 7	
原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 4	kl
I .	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 7	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
	総計(④=②+③)	<sup>®</sup> 7	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	1.9	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量** <sup>1</sup> (t)
	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	®=(⑥/1000)×⑦  0.0	0.014	@=®×9×44/12 0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
TAS	その他()	40			0.0				
எ	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	16,123.0	9.97	160.7	0.489	7.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>®</sup> 160.7	$\overline{}$	7.9
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	85.0			0.251	0.0
他	公共下水道			$\mathbf{m}^3$	85.0			0.439	0.0
	(4) 盘片。出田	合計					36 - 18 1		0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況	1
4		Γ.

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A405	ビル全体の推進体制の整備
組	織体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
//114. /	w 上山 42 正 畑				
_					
 	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
				ļ	
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
エ				C812	自動販売機の不要時の停止
ネ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	以闸水기刈水				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以 M	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無		9		
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$ m kg \cdot CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

# 6 特記事項

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	GINZA SIX
事業所番号	A 1 0 1 6 - 0 0 3 3
La Milla The Ada, and A La	〒 1 0 4 - 0 0 6 1 区市町村名東京都中央区
事業所等の所在地	町名番地 以 下 銀座6-10-1
事業所等の延床面積	33,697.85 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
日本標準産業分類における細分類番号	
前年度の報告内容	
からの変更点	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
	総計(④=②+③)	0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	0.0	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

IDC   U//C/IN	DLITI 35 11 av 1	H/ <						
燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
		D 47 14		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	®=8×9×44/12
都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び その他()				0.0				
その他()				0.0				
一般送配電事業者の雰゚ぬなかして	昼間(8時~22時)		kWh	1,188.0	9.97	11.8	0.489	0.6
供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計					11.8		0.6
水道及び工業	用水道			0.0			0.251	0.0
公共下水道		m <sup>3</sup>	0.0	/		0.439	0.0	
	合 計							0.0
	燃料等の 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼夜)	燃料等の種別 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)  第5条の17第3項の場合のみなし 合計 水道及び工業用水道 公共下水道	燃料等の種別 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 を間(22時~翌月8時) その他の質電(昼夜間不明の場合を含む。)  第5条の17第3項の場合のみなし値※2  第5条の17第3項の場合のみなし値※2   本道及び工業用水道 □ 公共下水道 □	推計 の 使用 単位 使用 単位 使用 単位 使用 単位 使用	推計 の 使用 単位 使用量	推計 の 使用 単位 使用量 係数 を	推計 の 使用 単位 使用量 係数 (GJ) (B=(B/1000)×⑦ 都市ガス □ Nm³ 0.0 45.00 0.0 その他(LPG) □ kg 0.0 50.80 0.0 その他(灯油) □ L 0.0 36.70 0.0 その他() □ 0.0	#計

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A502	ビルで設置する推進体制への協力
水丘	献や前の登開	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
	dra live to the co	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
工		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
ネ				C808	温湿度の適正管理
ルギ				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	11. 借 但 生 暑 笙	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
東	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	】 設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。
7 1.01 1 0 0 1 1 0 1 1 0 1 0 1 0 1	11 0311422794-1-0

目標の有無	□ 有 ■ 無				_0
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削减率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$ m kg\text{-}CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

# 6 特記事項

2017年4月売却のため、減少。60kl(▲100%)

### 1 事業所等の概要

	* //-	,,,,	- 100																			
事	業所	等	の名	称	神日	日スタ	クエ`	アフ	ロン	<u>۲</u>												
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	Ţ	0	0	3	4								
事	業所	等の	所在	:地	〒町	1 名 番	0	1	- Arts m	0	0	5	4	区	市	町材	村 名	東	京都千	代田区	ζ	
L					以		下		錦町		-3 業 ア ネ	r <b>生</b>	Ø)	主:	結	年月	<b>ぎ</b> 0				The said	
事	業所等	<b>・</b> のす	正床面			7,	341	.66	m²	工	ネルネル	レギ	· _		į į	月期	月月		1年度	至分		1年未満
所	有		形	態		自己	所	1		] 他	1者月	斤有										
報	告		範	囲		建物	1の全	陪到		〕建	物の	)一岩	祁(ラ	テナ	ント	.)			建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業 複合			物具	反)			商業施 その他		欠食)	
	本 標 i おける					9	1	1	連	鎖化	と事業	<b>美区</b> :	分		] [[	直営月	店		加盟	.店		非該当
前か	年度の		告內更	容点	2017	'年5	月取行	早														

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	95	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	181	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	24.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

	5 一致亿次未济山重寺(27)100													
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量 ®	係数	熱量 (GJ) ®=(®/1000)×⑦	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>*1</sup> (t) <sup>(0)=(8)×(9)×44/12</sup>					
	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0					
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0					
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0					
び熱	その他()				0.0									
7715	その他()				0.0									
-	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	371,188.0	9.97	3,700.7	0.489	181.5					
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0					
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0					
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 <sup>※z</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0					
		合計					3,700.7		181.5					
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,416.0			0.251	0.4					
他	公共下水道			m <sup>3</sup>	1,416.0			0.439	0.6					
		合 計							1.0					

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			<b>東点</b> 東			その他対策			
		対策番号		対策名	対策番号	対	策名		
		A401	テナントにエネ	ルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必	必要な情報の提供		
祖:	織体制の整備	A501	ビル所有者の	対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖	化対策協力依頼		
ИL,					A406	使用量に応じた料	金体系等の採用		
		B101	自ら入手可能	な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に排	三握		
	ネルギー等の				B107	主要設備の使用ね			
更,	用状況の把握				D101		7211		
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点	 灯範囲を表示		
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに	空調範囲を表示		
		C109	空室•不在時等	拳の空調停止	C108	温度計等による室	温の把握と調整		
					C123	温湿度の適正管理	<u> </u>		
	運用対策				C125	進入外気に伴う空	調負荷の低減		
省					C127	看板照明点灯時間			
エネル									
ルギー		D103	中央熱源機器	等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの	清掃•点検		
対	50. Ht /D - 1.1 Me				D108	その他設備の定期的な保守・点検			
策	設備保守対策								
					E125	高輝度誘導灯の導	草入		
					E104	照明点灯範囲の網			
	設備導入対策				E105	照明用人感センサ			
					E139	進相コンデンサ等			
5 目 目標	提出年度の地標の有無 原値等(選択)	□ 有 ベンチマー	無無	ランク kg・CC		2削減率(前年度比) 2排出量(総量)	9		
		その他		特記事項に内容を					
3	特記事項								
	7年5月取得								

### 1 事業所等の概要

	4 /1	-12 1	1 10																					
事	業所	等	の名	<b>新</b>	麹田	ĴРR	EX																	
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	-	0	0	3	5	Γ									
Г					₹	1	0	2		0	0	8	3	区	市	盯木	寸 彳	名词	東京	都千個	田力	区		
事	業所	等の	所有	主地	町。以	名番	· 地 下	麹町																
事	業所等	争の多	延床百	面積		2,	999	.24	$m^2$	事工	業が	ī等 レギ	の 	実 <i>i</i> 使	漬工	F	更 <i>0</i>	D 引		1年度	分	ı	1	L年未満
所	有		形	態		自己	」所有	Ĭ		] 他	者別	「有												
報	告		範	囲		建物	の分	产部		〕建	物の	)一岩	邪(ラ	ーナ	ント)				建	物の	一节	3(そ	<i>の</i>	他)
報	告範囲	の主	たる)	用途		事務 工場						商業 複合			勿郥	)				業施 の他	設(1	飲食	E)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事美	<b>美区</b> 2	分		直	営尼	ち			加盟	店		l' ş	非該当
前か	年度 ら 0		告戶		2018	3年3丿	月取行	导																

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<b>O</b>	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	l t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
	総計(④=②+③)	(0)	l t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 0.	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	— PX 107 (7)	DIM TO TO .	HV						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			2 47.11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
4441.	都市ガス			$Nm^3$	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	*** その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	3,620.0	9.97	36.1	0.489	1.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	- 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					<sup>®</sup> 36.1		1.8
その	水道及び工業	用水道		m <sup>3</sup>	19.0			0.251	0.0
他	公共下水道			$m^3$	19.0			0.439	0.0
		合 計				$\overline{}$			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑩=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
<b>%</b> □ .	織体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
<b>形</b> 丑;				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
	la l	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100	11 AC AC AN 10 TE			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C123	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
エ				C812	自動販売機の不要時の停止
ネ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	放 佣 体 寸 刈 束				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	双"    特八    水	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。
2 4124 1 25 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 17 17 KAL/94 0 1 CU

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		${ m kg  ext{-}CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

# 6 特記事項

2018年3月取得

#### 1 事業所等の概要

	4 71	47.7 1 .4	1000																			
事	業所	等(	の名	称	サン	/・ア	ンド	`•サ	ンビ	ルラ	ディン	/グ										
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	=	0	0	3	6								
	VII.6	tala	t.		Ŧ	1	3	5	-	0	0	1	6	区	市町	村:	名東	京都	江東区	Ĺ		
事	業所	等の	所 在	地	町纟以	名 番	F 地 下	東陽	<del>-</del>													
事	業所等	節の延	床面	積		24,	098	.82	$m^2$						責年用			1年	F度分	Ĺ,	1年	未満
所	有	Ŧ	形	態		自己	·所	有		] 他	1者月	所有	1									
報	告	貧	節	囲		建物	<b>かの</b> 全	全部		] 建	生物0	)一 <sup>毕</sup>	邪(ラ	テナン	/ト)			建物	のーヸ	部(そ	の他)	
報	告範囲	の主	たる用	途		事務工場						商業複合			勿販)			商業その	施設 他	飲食	)	
	本 標: おける				6	9	1	1	連	鎖側	匕事氵	業区:	分		直営	店		〕加	盟店		非認	亥当
前か	年度の			容点	対象	物件	見直		より追	<b>多</b> 加											9	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	403	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	@	789	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	5	t
	総計(④=②+③)	4	794	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	32.7	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

	_ IX I L X X X	DELLI THE TOOL	H/ \						
	燃料等の	種別	推計のは出	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>*1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0) (0)=(8)×(9)×44/12
464.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	13,453.9	45.00	605.4	0.014	30.2
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Th:	その他()				0.0				j
	一般送配電事業者の環境限なのして	昼間(8時~22時)		kWh	926,446.0	9.97	9,236.7	0.489	453.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	626,740.0	9.28	5,816.1	0.489	306.5
AV	その他の買電(昼夜	- 削不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	値 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					15,658.2		<sup>19</sup> 789.7
	水道及び工業	用水道		$m^3$	7,464.0			0.251	1.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	7,464.0	$\overline{}$		0.439	3.3
		合 計							5.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号		<b></b>	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルキ	ドー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
組	織体制の整備	A501	ビル所有者の対策	や要請に協力		
τ.	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情	報に基づく把握		
	用状況の把握					
		C101	空室・不在時等のご	こまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の	推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の	空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エ	ネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運 用 対 策	C803	フロア共用部の温』	度の把握・設定		
省エネ		C804	共用部のフロアごと	の空調の管理		
レギー		D104	空調フィルターの清	<b> </b>		
付策	設備保守対策	DIOT		THE THEFT		
					E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	55. /HE \345 → 1.1 feb				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
					E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
5		球温暖化 □ 有 ベンチマー	■ 無	ランク kg-CC		2削減率(前年度比) 9 2排出量(総量) t
	į.	その他	特記	記事項に内容を		
6	特記事項		,		#= IX	
一象	物件見直しにより追	カロ				

#### 1 事業所等の概要

-					_							_										
事	業 所	等	の名	称	ダウ	ブイン	チュ	7	町													
事	業	所	番	号	A	1	0	1	6	Ţ	0	0	3	7								
事	** 武	tets a	いまえ	r +1h	Ŧ	1	0	1	-	0	0	5	4	区	市町	「村	名 :	東京	都千代	田区	ζ	
尹	業所	守 ()	J 171 12	上地	町以以	名番	地下	神田	錦町	ſ2−4												
事	業所等	等の)	延床面	面積			486	.24	$m^2$	事工	業所ネル	「等 レギ	の	実 <i>終</i> 使	漬 年 [ 用	度期	の間		1年度分	i)		1年未
所	有		形	態		自己	上所有	j	П	■ 他	1者的	有										
報	告		範	囲		建物	カのき	产部	Į,	■ 建	物の	)一岩	邪(ラ	ーナン	ント)			建	物の一	-部	(その	)他)
報	告範囲	の主	こたる月	用途		事務工場						商業 複合			勿販)	9			業施認 の他	殳(飲	(食)	
日に	本 標 おける	準 產	産業分 分類者	<b>計類</b>	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区/	分		直包	営店			加盟店	ī		非該
前か	年 度 ら 0		及告户 定 更	容点	対象	物件	見直	ilk	より追	9加												

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	9	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	17	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	0	17	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	34.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

# 日 (t) (大き) (株数 (t) (乗事) (大き) (乗事) (共和) (大き) (乗事) (共和) (大き) (共和) (大き) (共和) (大き) (共和) (大き) (共和) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き	U	——时门次示	別田重子へた	EV.						
本市ガス		燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数		排出	排出量*1
大の他 (LPG)				区/11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	⑩=8×9×44/12
及 での他(灯油) □ L 0.0 36.70 0.0 0.019 0 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	J.Als.	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
及 での他(灯油) □ L 0.0 36.70 0.0 0.019 0 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	料料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
表の他()	及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
その他()	び数	その他()				0.0				
電震路を介して 供給された電気 夜間(22時~翌日8時) □ kWh 0.0 9.28 0.0 0.489 0 その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。) □ kWh 0.0 9.76 0.0 0.489 0 規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup> kWh のの 9.76 0.0 0.489 0 0 6 計	77.1	その他()				0.0				
供給された電気   夜間(22時~翌日8時) □   kWh   0.0   9.28   0.0   0.489   0     その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。) □   kWh   0.0   9.76   0.0   0.489   0     規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup>   kWh   0.0   9.76   0.0   0.489   0     合 計   0.0   9.76   0.0   0.489   0     17			昼間(8時~22時)		kWh	36,146.0	9.97	360.4	0.489	17.7
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)     □     kWh     0.0     9.76     0.0     0.489     0       規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup> kWh     0.0     9.76     □     0.0     0.489     □     0       合計     □     360.4     □     17			夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
合計 第 360.4 第 17		その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
日前 17	規則	川第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
Z 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2			合 計					360.4		17.7
$\mathbb{C}_{\mathcal{O}}$ 水迫及び工業用水迫 $\mathbb{C}_{\mathbb{C}}$ $\mathbb{C}$ $$	その	水道及び工業	用水道		$m^3$	0.0			0.251	0.0
	他	公共下水道				0.0			0.439	0.0
			合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策	名	対策番号	対策名
					A405	ビル全体の推進体制の整備
組;	織体制の整備				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
_	<b>.</b>	B101	自ら入手可能な情報	に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握		エネルギー使用量の	前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこ	まめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C109	空室・不在時等の空	調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロア	ごとの管理		
		C803	フロア共用部の温度	の把握・設定		
	運 用 対 策	C804	共用部のフロアごとの	空調の管理		
省エネ		C805	中央熱源機器等の季	節設定実施		
イルギー		D104	作到一, 11. 力 <b>.</b>	3 . Ł W	D105	松戸ついたの本根と松
」 対		D104	空調フィルターの清持	m*	D105 D108	換気フィルターの清掃・点検 その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策				D108	ての他畝棚の足翔的な休守・点俠
					E130	全熱交換器の導入
	設備導入対策					
	情年度の目標達成 提出年度の地		□ 目標達成した対策の目標	0		
1	標の有無	□有	無無			(many)
		ベンチマー	ク区分	ランク	$CO_2$	削減率(前年度比)
日桓	(選択)	CO。排出量	(延床面積当たり)	kg-C(	$O_2/m^2$ $CO_2$	排出量(総量) t
1 1/1	1 (12.1)	O O ZDI PHILE				
1 1/3		その他		事項に内容を		
3						
6		その他				